

## OneDrive のファイルのオンデマンドダウンロード機能

「オンデマンドダウンロード機能」とは

OneDrive (ワンドライブ) は、2017年の秋に行われた Fall Creators Update で「オンデマンドダウンロード機能」が使用できるようになりました。

以下、Web ブラウザで使用できる OneDrive Web ページを「OneDrive」、パソコンで実行する OneDrive クライアントアプリケーションを「OneDrive アプリ」、Microsoft が管理するクラウドの OneDrive エリアを「OneDrive エリア」、パソコンの OneDrive と名前が付いているフォルダを「OneDrive フォルダ」と書きます。

「オンデマンドダウンロード機能」は、OneDrive エリアにあるファイルやフォルダごとに、あらかじめパソコンの OneDrive フォルダにダウンロードしておくか、それともオンデマンド（必要の都度）でパソコンの OneDrive フォルダにダウンロードするか、を選択できるようにする機能です。

アップデート前の OneDrive アプリでは、OneDrive フォルダを右クリックし、メニューの「設定」をクリック、表示された「Microsoft OneDrive」ダイアログボックスの「アカウント」タブの「フォルダの選択」の「フォルダの選択」ボタンをクリックして「OneDrive のファイルをこの PC と同期」ダイアログボックスを表示し、一覧で表示されている同期の必要なフォルダのみ選択することにより全てのファイルをパソコンにダウンロードする必要をなくしていました。しかし、同期を除外したフォルダのファイルへアクセスしたくなったときには、改めて同期対象として選択操作をやり直したり、Web ブラウザで OneDrive を開いたりする必要があるなど、やや面倒でした。

アップデート後は「オンデマンドダウンロード機能」を使って、簡単にファイルを利用できるようになっています。OneDrive を初めてインストールしたときは、全てのフォルダやファイルは、最初はパソコンにコピーされず、OneDrive フォルダを開いたとき OneDrive エリアに保管してあるフォルダやファイルの一覧表が表示され、使用したいフォルダやファイルをアプリケーションで開くなど、ファイルへ実際にアクセスが発生した時点でファイルがダウンロードされて利用できるようになりました。すでに OneDrive がインストールされている場合は、アップデートにより変わることはなく、パソコンのフォルダやファイルはそのまま同期の対象です。

「オンデマンドダウンロード機能」を使用するか使用しないかは選ぶことができます。なお、Fall Creators Update を初めてインストールしたり、アップデートしたときは「オンデマンドダウンロード機能」は使用しない設定になっています。

「オンデマンドダウンロード機能」を使用するときには次の制約があります。

1. インターネットに接続されていない（オフライン）場合は、**OneDrive** エリアのみにあるファイルを開くことはできない
2. **OneDrive** エリアからダウンロードが完了するまでいくらか待たされるし（特に大きいファイルほど長く待たされる）、通信料（量）も使用することになる

この制約を避けるために次の機能が使えます。

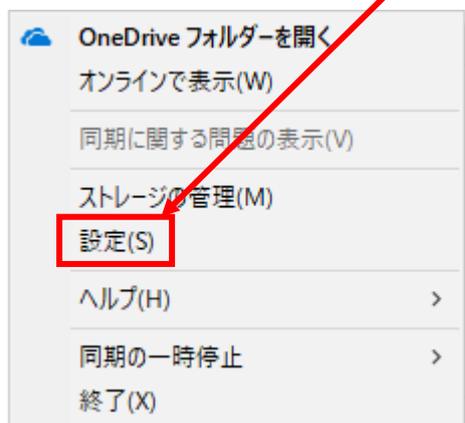
1. 特定のファイルやフォルダについて、あらかじめ **PC** にダウンロードしておくことが可能（これで従来の **OneDrive** フォルダと同じように使えるようになる）
2. 画像ファイルのプレビュー（サムネール）情報などは、ファイルをダウンロードしていなくても表示可能
3. 不要になったパソコンの **OneDrive** フォルダのファイルやフォルダを「オンライン時に使用可能」の状態にして、そのファイルやフォルダを **OneDrive** フォルダから削除し元のオンライン時に使用可能の状態に戻すことが可能
4. 「オンライン時に使用可能」状態のファイルやフォルダでも、インターネットに接続されているか、インターネットに接続されていない場合でも最後にインターネットに接続されたときに **OneDrive** フォルダに表示されていれば、ファイル名またはフォルダ名での検索対象になりますが、ファイル内の内容の検索はできません。

### 「オンデマンドダウンロード機能」を利用するには

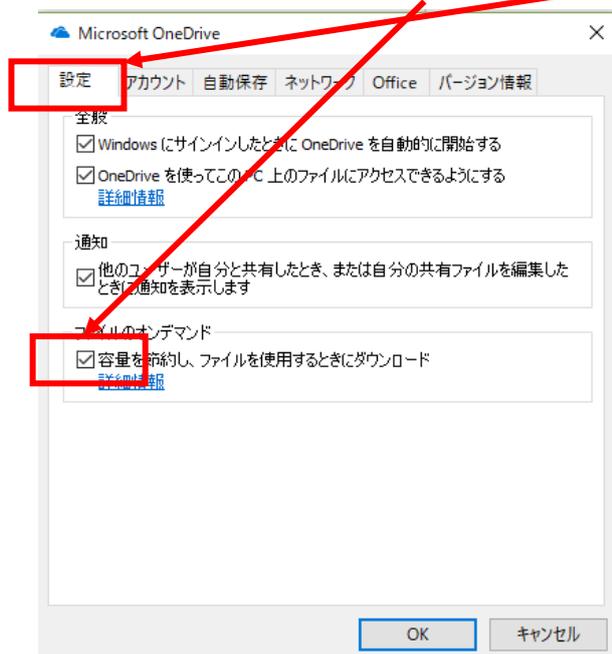
**Windows 10 Fall Creators Update** を初めてインストールしたり、アップデートしたときは「オンデマンドダウンロード機能」は使用しない設定になっていますので、「オンデマンドダウンロード機能」を使用するときには、次のように手動で使用する設定にしなければいけません。

1. タスクバーの右の通知領域にある「**OneDrive**」アイコンを右クリックして表示されポップアップメニューの「設定」をクリックする。

（通知領域に「**OneDrive**」アイコンが表示されていない場合は、上向き山形をクリックすると表示されます）



2. 「Microsoft OneDrive」のダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、中ほどにある「ファイルのオンデマンド」の「容量を節約し、ファイルを使用するときにダウンロード」にチェックをする。



3. 「OK」ボタンをクリックすることで「オンデマンドダウンロード機能」を使用することができます。使用しない設定に戻す場合は、「ファイルのオンデマンド」の「容量を節約し、ファイルを使用するときにダウンロード」のチェックをはずしオフにします。

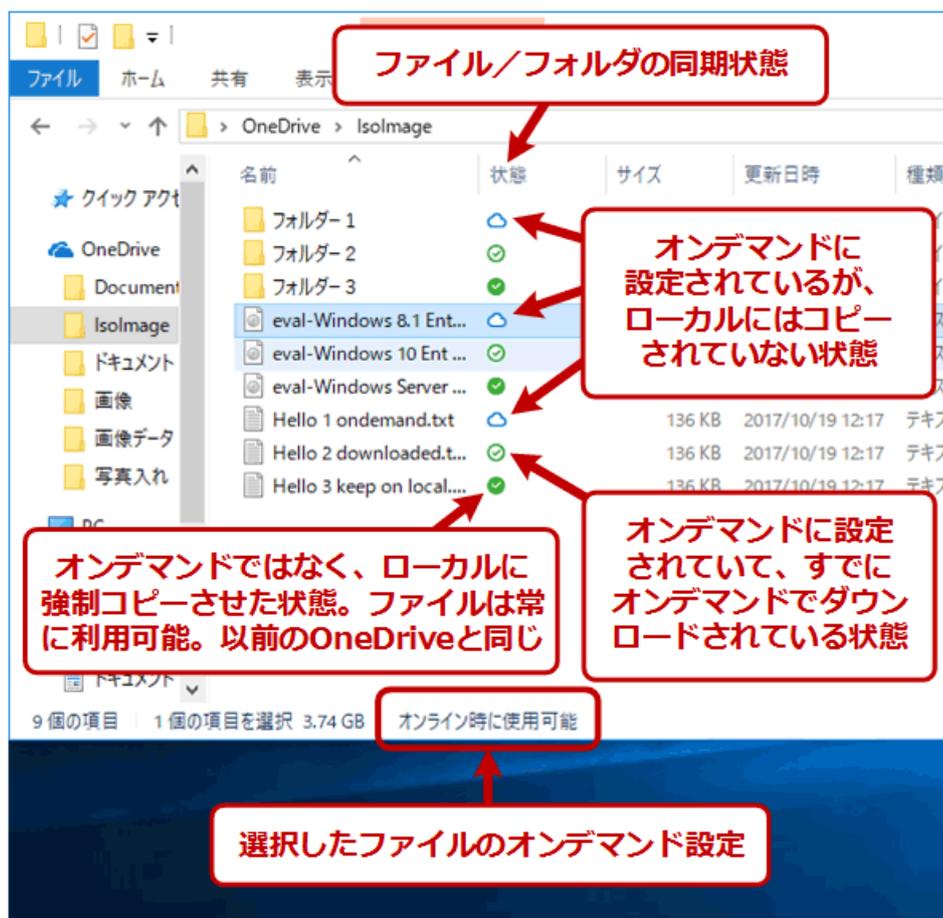
### ● 「ファイルのオンデマンド」が見当たらない場合は？

OneDrive アプリの「オンデマンドダウンロード機能」は Windows 10 Fall Creators Update の新機能ですが、OneDrive のクライアントプログラムのバージョンが古いと、この機能が利用できません。これは OneDrive のクライアントは Windows 10 本体とは別にバージョン管理や更新管理されているためです。上記の設定画面が見つからない場合は、「バージョン情報」タブでバージョン番号を確認してください。

「バージョン 2017 (ビルド 17.3.7073.1013)」よりも古いとオンデマンド機能は利用できません。この場合は、自動配布されるまで待つてください（順次更新されているので、しばらく時間がかかります。何度か再起動やサインアウト／サインインを繰り返してもよいです）。

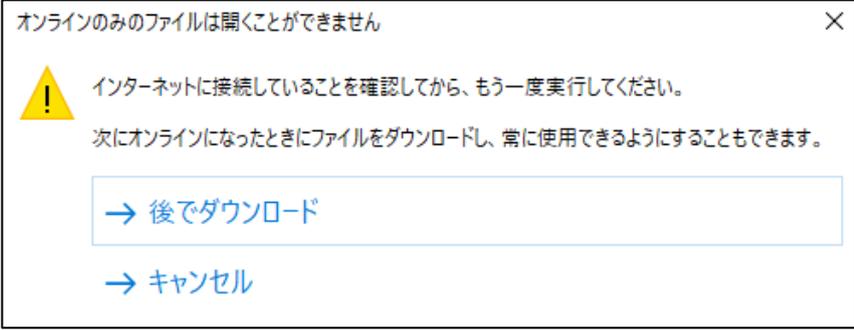
### オンデマンド機能が有効な場合のエクスプローラ表示

OneDrive アプリの「オンデマンドダウンロード機能」が有効になっていると、エクスプローラで OneDrive フォルダを表示させた場合に「状態」というフィールドが追加され表示されています。これは OneDrive ファイルとの同期の状態を表しています。



## 状態の種類

状態	意味
オンライン時に使用可能  「一覧」「詳細」表示の時は状態を表す雲のマークのアイコンのみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルのデータが <b>OneDrive</b> エリア上にのみ存在する状態</li> <li>ファイル名はあるものの、ファイルの内容 (実体) は <b>OneDrive</b> フォルダにはダウンロードされていない状態</li> <li>エクスプローラには「プレースフォルダ」が表示される (例: 画像データなら、その縮小サムネールが表示される)</li> <li><b>OneDrive</b> アプリのセットアップを行うと、<b>OneDrive</b> エリアにある名前の一覧を取得して、最初はこの状態にセットされる</li> <li><b>OneDrive</b> エリア (もしくは他の PC の <b>OneDrive</b> フォルダ) でファイルやフォルダを新規作成すると、最初はこの状態になる</li> <li>ファイルがオンデマンドで開いて <b>OneDrive</b> フォルダにダウンロードされると、次の「このデバイスで使用可能」状態に移行する</li> <li>オフライン (ネットワークにつながっていない状態) では、ファイルの内容は利用できない (ダウンロードできない) ファイルを開こうとすると次図のエラーが表示される</li> </ul>

	 <p>「後でダウンロード」をクリックするとオンラインにしたときにダウンロードが行われる</p>
<p>このデバイスで使用可能</p>  <p>「一覧」「詳細」表示の時は状態を表す白丸にレ点のマークのアイコンのみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイルのデータが <b>OneDrive</b> エリアと <b>OneDrive</b> フォルダの両方にある状態</li> <li>• 「オンライン時に使用可能」状態のファイルを開こうとすると、オンデマンドで <b>OneDrive</b> エリアから <b>OneDrive</b> フォルダにダウンロードされ、この状態になる</li> <li>• <b>OneDrive</b> アプリの初期セットアップ時にすでに <b>OneDrive</b> フォルダにファイルが存在していると（例：OS をアップデートした場合や、<b>OneDrive</b> のオンデマンド機能をオフからオンにした場合など）、最初はこの状態にセットされる</li> <li>• <b>OneDrive</b> フォルダにファイルやフォルダを新規作成すると、最初はこの状態にセットされる（そして、さらに <b>OneDrive</b> エリアにもコピーされる）</li> <li>• オフラインでも利用できるが、<b>OneDrive</b> エリアとの同期はオンラインになるまで延期される</li> <li>• <b>OneDrive</b> フォルダのファイルやフォルダを削除すると、<b>OneDrive</b> エリアのファイルやフォルダは <b>OneDrive</b> エリアの「ゴミ箱」に移動する</li> </ul>
<p>このデバイスで常に使用可能</p>  <p>「一覧」「詳細」表示の時は状態を表す緑丸にレ点のマークのアイコンのみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイルのデータが <b>OneDrive</b> エリアと <b>OneDrive</b> フォルダの両方にある状態</li> <li>• 上の 2 つのいずれかの状態から、手動で「このデバイス上で常に保持する」を指定するとこの状態になる</li> <li>• オンデマンド機能を使用しない場合の <b>OneDrive</b> アプリと同じ状態</li> <li>• 今後オフラインでの利用が想定される、またはよく使うのであらかじめダウンロードしておきたいファイルやフォルダは、この状態にしておくとい</li> <li>• フォルダをこの状態に設定すると、その中に作成されるファイルやフォルダもこの状態になる</li> <li>• オフラインでも利用できるが、<b>OneDrive</b> エリアとの同期はオンラインになるまで延期される</li> </ul>

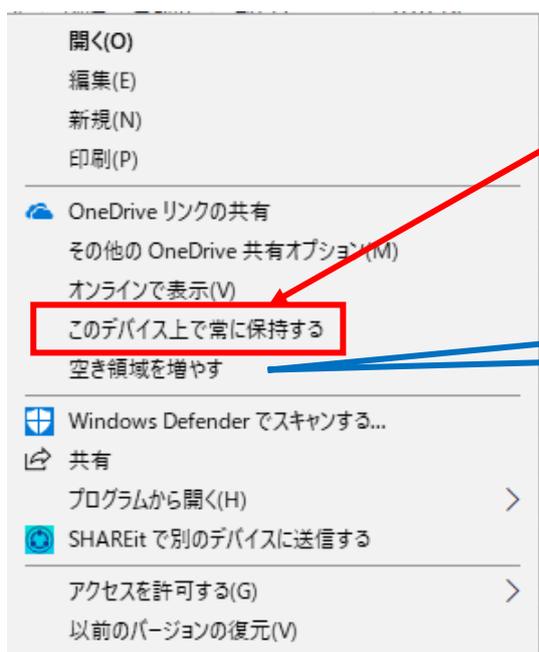
- OneDrive フォルダのファイルやフォルダを削除すると、OneDrive エリアのファイルやフォルダは OneDrive エリアの「ゴミ箱」に移動する

「このデバイスで使用可能」と「このデバイスで常に使用可能」の違いが少し分かりづらいですが、オンデマンドでファイルを開いて自動ダウンロードさせた場合が「このデバイスで使用可能」、手動で「このデバイス上で常に保持する」を指定してダウンロードさせた場合が「このデバイスで常に使用可能」になります。

### ファイルやフォルダのオンデマンド設定の切り替え

ファイルやフォルダの状態を変えるのは、対象となるファイルやフォルダを選択して右クリックし、次のように「このデバイス上で常に保持する」か「空き領域を増やす」のいずれかを選択する。

1. 「オンライン時に使用可能」（手動のダウンロードになる）または「このデバイスで使用可能」を「このデバイスで常に使用可能」に変えたい場合
  - ① ファイルまたはフォルダを選択する
  - ② 選択したファイルまたはフォルダを右クリックする
  - ③ 表示されたメニューの「このデバイス上で常に保持する」をクリックするとチェックマークが付き「このデバイスで常に使用可能」の状態に変えられます



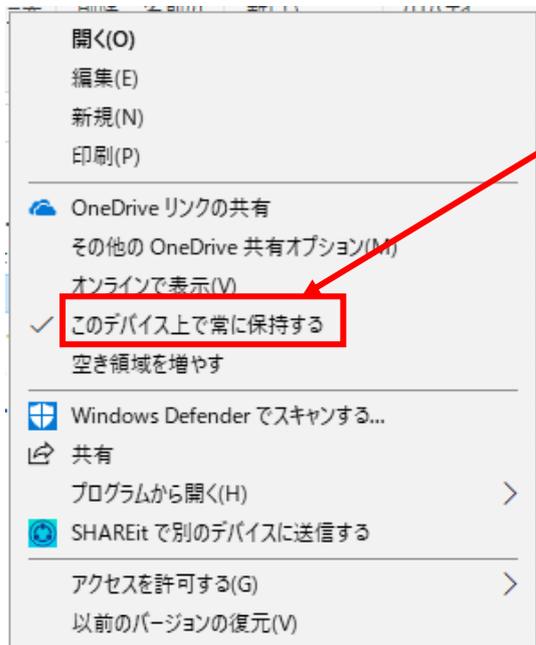
「オンライン時に使用可能」状態の時はグレースアウトしている

(下の部分を省略しています 以下同じ)

- ④ 「オンライン時に使用可能」の状態のファイルまたはフォルダを選択して「このデバイスで常に使用可能」をクリックすると、インターネットに接続されている状態ではファイルまたはフォルダのダウンロードが始まります。インターネットに接続されていない状態では「同期保留中」（状態のアイコンは二つの矢印が追いかけるように丸を描く）の状態になり、インターネットに接続したときにダウンロードが始まります。

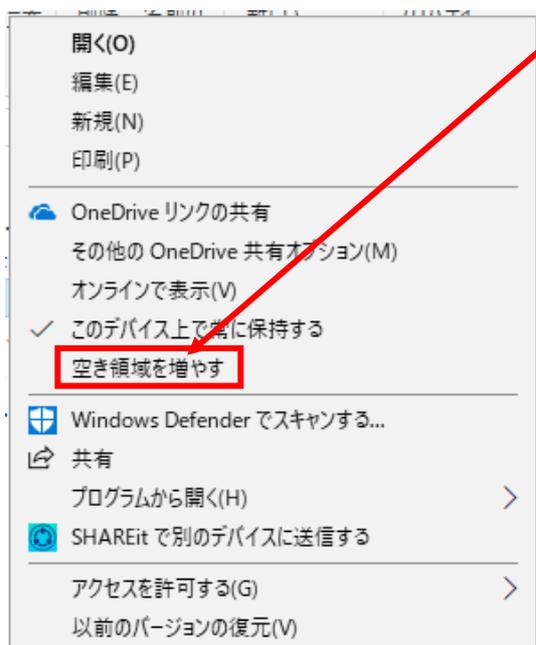
2. 「このデバイスで常に使用可能」を「このデバイスで使用可能」に変えたい場合

- ①ファイルまたはフォルダを選択する
- ②選択したファイルまたはフォルダを右クリックする
- ③表示されたメニューの「このデバイス上で常に保持する」をクリックするとチェックマークが消え「このデバイスで使用可能」の状態に変えられます



3. 「このデバイスで使用可能」または「このデバイスで常に使用可能」を「オンライン時に使用可能」に変えたい場合

- ①ファイルまたはフォルダを選択する
- ②選択したファイルまたはフォルダを右クリックする
- ③表示されたメニューの「空き領域を増やす」をクリックすると「このデバイス上で常に保持する」のチェックマークがあれば消え「オンライン時に使用可能」の状態に変えられ OneDrive エリアのみに残され OneDrive フォルダから完全に削除されます



### 「オンライン時に使用可能」はエクスプローラでどのように見える？

ファイルやフォルダを「オンライン時に使用可能」状態に設定すると、名前はそのまま維持されますが、ファイルの実体が **OneDrive** フォルダから削除されます。そのため、**OneDrive** フォルダの実際に使用しているディスク上での占有サイズは「0 (ゼロ)」になります。

実際にどのくらいディスクを占有しているかを確認するには、ファイルやフォルダを選択して右クリックし、「プロパティ」画面を表示させると確認できます。

「オンライン時に使用可能」状態に設定した場合、ファイルの内容（データ）はダウンロードされませんが、ファイル名やフォルダ構造などは実際にパソコンの **C** ドライブのディスク上に作成されています。そのため、非常に大量のファイルやフォルダが **OneDrive** エリア上に存在していると、それなりにディスク容量を消費します。パソコンで使うつもりのないフォルダなら、前に書いたアップデート前の **OneDrive** アプリで使えた、フォルダの選択機能が同じように使えるのでそれを使って、あらかじめフォルダごと除外しておくといいです。